

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E1321003		音楽科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Music (Junior High School))																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 松本 正  E-mail tmatsumo@oita-u.ac.jp 内線												
授業の概要	中学校および高等学校音楽科における表現の3分野から、2分野(歌唱と器楽または歌唱と創作)を選択し、基本的な教材や指導内容について自らが設定した課題にもとづいて、指導事例の収集・分析を行う。さらに、指導案の作成と授業実践により、基本的な教材や指導内容の効果的な授業展開や指導方法を追究する。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 表現領域における基本的な教材や指導内容について、自らの課題を設定できる。																		
目標2 収集した指導事例を整理し、分析できる。																		
目標3 自らの課題にもとづいて指導案を作成できる。																		
目標4 模擬授業を実施し、相互評価により改善案を見出すことができる。																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 ガイダンス、学習指導要領の目標と内容の確認																		
2 分野の選択と課題の設定																		
3 歌唱の指導内容の選択と教材研究																		
4 指導事例の収集																		
5 指導事例の分析																		
6 授業の構想																		
7 学習指導案の作成																		
8 授業実践(模擬授業)と相互評価による授業改善																		
9 器楽(または創作)の指導内容の選択と教材研究																		
10 指導事例の収集																		
11 指導事例の分析																		
12 授業の構想																		
13 学習指導案の作成																		
14 授業実践(模擬授業)と相互評価による授業改善																		
15 講義のまとめ																		
ラ イ ク ニ テ ン イ グ 	A:知識の定着・確認	事例収集・分析、学習指導案作成、模擬授業、振り返りのディスカッション					工 夫 そ の 他 の											
時間外学修の内容と時間の目安	準備 学修	課題としての事例収集(2h)、事例分析の準備(2h)、授業実践の準備(4h)																
	事後 学修	授業実践のまとめ(4h)																
教科書	『中学校学習指導要領解説 音楽編』(平成29年6月 文部科学省) 『中学生の音楽』1, 2・3上, 2・3下(教育芸術社)																	
参考書	『中学校学習指導要領』(平成29年3月告示 文部科学省), 『高等学校学習指導要領』(平成30年3月告示 文部科学省), 『高等学校学習指導要領解説 芸術編』(平成30年7月 文部科学省)																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	事例分析のまとめ	30%																
	学習指導案作成と模擬授業	30%																
	期末試験	40%																
注意事項	なし。																	
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。																	
リンク																		
	URL																	